

臨床研究実施概要

【研究課題名】 Rapid Response System(RRS) データレジストリーに関する多施設合同研究

【研究期間】 2013年12月～2018年7月

【研究の意義・目的】

欧米では、RRSの導入によって院内心肺停止発生数の減少、心肺停止症例の死亡率の減少、有害事象発生率の減少などが数多く報告されているが、オーストラリアにおける多施設無作為化試験では、RRSの有用性が証明されない結果が報告されている。徐々にRRSが浸透しつつある本邦のデータをきちんと収集し、日本独自のエビデンスを確立していくことが、日本においてRRSの普及を更に加速することが可能となる。

【研究の方法】

聖マリアンナ医科大学主体の多施設合同研究に1施設として参加する。

- (1)試験のデザイン 多施設観察研究
- (2)RRS 起動症例の de-identification したデータを、Web 上でオンライン登録を行う。
- (3)期間 倫理委員会で承認後、症例登録を開始。
- (4)対象者 Rapid Response System 導入後の起動症例
- (5)人数 多施設共同研究全体：5年間で約1500症例、本学：30症例の目標

【研究機関名】 名古屋市立大学病院 麻酔科・集中治療部

【研究責任者】 仙頭 佳起

【問い合わせ先】 名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔・危機管理医学分野

(〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地)

※ホームページの「お問い合わせ」ページからご照会ください。